

## 第1回 観光プロモーションに関する分科会 次第

日 時 : 令和7年6月12日(木) 午後3時00分  
場 所 : 荒川区役所5階 大会議室  
議 題 : 新たな観光資源に関する意見交換

### 1 開 会

- 2 議題 「埋もれている観光資源の発掘と活用について」
- (1) 資料説明
  - (2) 意見交換

### 3 その他

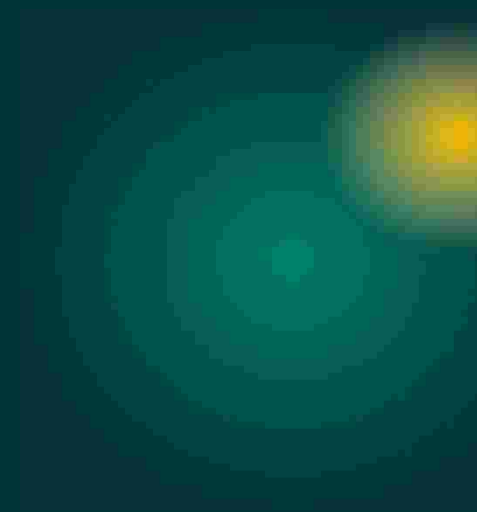
### 4 閉会

(配付資料)

- ・資料1 埋もれている観光資源の発掘と活用について

# 埋もれている観光資源の 発掘と活用について

荒川区 産業経済部



# 01 埋もれている観光資源

# 1 科学技術展示館

- 都立産業技術高等専門学校荒川キャンパス内にあり、重要航空遺産の飛行機やヘリコプターがあるほか、NHKロボコンに出場したロボットなどが展示されています。年10回程度一般公開しています(常時の公開はしていません)。



# 2 アニメ・プラモデル・模型などのコンテンツ企業

- 荒川区は、あしたのジョー、巨人の星といったアニメ作品の舞台となっています(あしたのジョー像が台東区にあります)。また、荒川区内には、「サザエさん」「ぼのぼの」などのアニメ制作スタジオである「エイケン」の本社があります。さらに、お城・ラジコンカーなどの模型製造販売で知られる「童友社」の本社があります。



### 3 暗渠・水路跡(藍染川通り・八幡堀など)

- 低地帯である荒川区には、かつて川や水路であったところが多数あります。藍染川(左)のように暗渠化されて道路となったものもあれば、八幡堀(右)のように埋め立てられてしまったものもありますが、古地図と照らし合わせることで、過去の姿が見えてきます。



### 4 寺社の書画などの所蔵品

- 泊船軒には、小室翠雲の「雲龍図」(左)や日本画家百名による「花鳥風月画」(右)があります。このほかにも寶蔵院や石浜神社などに書画がありますが、基本的には公開されているものではありません。



## 5 著名人の墓地

- 回向院には吉田松陰・橋本左内などの幕末の志士のお墓や、鼠小僧次郎吉・片岡直次郎・高橋お伝など、文学作品の題材にもなった人物のお墓があります。このほかにもプロレスラーのカール・ゴッチや内閣総理大臣であった石橋湛山などのお墓もあります。



## 6 街なかの彫刻作品

- 荒川区では「彫刻の街づくり事業」として昭和60年度から公共施設や広場、公園、などに数多くの彫刻作品を設置しています。区公式HPでは144点の作品を紹介しています。



## 7 町中華・コリアンフード

- 古くからの下町である荒川区には、「町中華」と呼ばれる大衆向け中華料理店が多くあります。  
また三河島駅を中心としたエリアには、焼肉・物産などのコリアンフード(韓国・朝鮮料理店)が集まっています。



## 8 銭湯

- 荒川には銭湯文化が残っており、23区の中でも人口当たりの銭湯の軒数が2番目に多い区です。  
100年を超える歴史を持つ銭湯や高濃度水素風呂などの最新設備や、サウナを完備した銭湯など、16のバリエーション豊富な銭湯があります。



## 9 三河島水再生センター(唧筒場)<sup>ポンプ</sup>

- 赤レンガ造りの旧三河島污水処分場唧筒場施設は、日本初の近代的下水処理施設で、国の重要文化財に指定されています。  
事前予約制で施設見学を受け入れているほか、時期によってはライトアップもしています。



## 10 昭和レトロな街並みと裏路地

- 荒川区には、戦後形成されたままの古い町並みが多数残り、細い路地にも魅力的なお店が多数あります。ただ、このような街並みは、木密解消を目指した再開発などにより、徐々に少なくなってきました。



# 11 あらかわもんじゃ

- もんじゃ焼きは、荒川区でも古くから区民のソウルフードとして親しまれています。  
(円形の土手を作り、その中に具材と汁を流し込むのが有名な作り方ですが、)荒川区の昔ながらのスタイルでは土手を作らず、豪快に生地を一気に流し込みます。



# 12 三河島菜

- 三河島菜は江戸を代表する漬菜として、当時の書物にも描かれており、鷹狩りに訪れた将軍にも献上されたという記録も残っています。昨今、江戸東京・伝統野菜研究会の試みにより、この三河島菜の子孫種である「仙台芭蕉菜」の流れから、東京西部の農家で江戸東京・伝統野菜「青茎三河島菜」として栽培されるようになりました。



## 13 下御隠殿橋からの風景

- JR日暮里駅北改札口を出た所に、日暮里駅の東西を結ぶ跨線橋(こせんきょう)の下御隠殿橋があります。橋の中ほどには、トレインミュージアムと呼ばれるバルコニーが設置されています。トレインミュージアムからは、京浜東北線、山手線、新幹線(東北、山形、秋田、北海道、上越、北陸)、高崎線、宇都宮線、常磐線、京成線といった様々な種類の電車を見ることができます。



## 02 観光資源をかけ合わせた取り組み例 (コト消費への対応)

# 1 夜景・プロジェクションマッピングツアー

- あらかわ遊園ライトアップ・夜間開園に合わせ、都電ライトアップ電車を運行する。また三河島水再生センターのライトアップに合わせ、区役所本庁舎8階を公開して、ここからの夜景を観賞してもらう。  
また、区役所本庁舎でのプロジェクションマッピングを実施し鑑賞してもらう。



## 2 浅草の人力車を三ノ輪橋まで呼び込む

- 浅草周辺で営業している人力車に、穴場・ディープスポットとして三ノ輪橋近辺を紹介し、観光客にサジェストしてもらう。観光客は三ノ輪橋まで来たら昭和レトロの商店街を散策した後、都電に乗って次の目的地に向かってもらう。



### 3 東京水辺ラインと周辺イベント

- あらかわ遊園の隅田川沿いに、通常使用されていない水上バス「東京水辺ライン」の発着場がある。あらかわ遊園や宮前公園でのイベントに合わせて、東京水辺ラインの臨時便(チャーター便)を出してもらい、浅草・日の出方面と直結するほか、利用者を(イベントのほか)、都電や隅田川遊歩道へ誘導する。





## ■ チーム理念 (Philosophy)

「楽しい事を正しくしていく“人と人が繋がる観光”を荒川区から」

楽しくなければ続けられない、正しくなければ続けていくことができない。

私達は「楽しい」を“笑顔を作る”事と定義し、まずは自らが楽しみながら笑顔で過ごし、周りの笑顔でいてもらえる努力をする。

その結果、自分達・周りの人達・地域社会にとって「正しいあり方」が生まれる。

地域を盛り上げよう、楽しい事は正しいのだから

## ■ VISION (目指す未来像)

～“関係人口”がどんどん増えるコミュニケーション力がアツい区に！～

観光を入り口に、仕事や暮らし、文化や人とのつながりが自然に生まれ環境を作る。

“一度きて終わり”ではなく“また来たくなる”、そして“もっと関わりたくなる”まち・荒川へ。

## ■ MISSION (使命)

- ・ 地元ならではの魅力を活かして、継続できる楽しい事を行う
- ・ 区民・企業・区外の人達も同じ地域のにぎわいの課題を持つ仲間とのつながりを促進し、関係人口を増やす
- ・ 一過性ではない想いや体験を通じて「また会いたくなる人・場所」を増やす
- ・ 小さな成功体験を積み重ね、荒川モデルを区全体そして区外へも展開していく

## ■ VALUES (価値観)

1. つながりを大切に: 出会いを関係に変え、関係を継続につなげる
2. 楽しく、ポジティブに: 私たち自身が楽しみ、そしてまわりを巻き込もう
3. 共に育つ: 地域の未来をみんなで描こう
4. 受け入れよう: 関わり方は人それぞれ。柔軟な関係性・多様性を認め合う
5. “継続できる”を大切に: 無理なく続けられるアイデアと行動をプランニングする